

SANWA
SHUTTER



Tajima
ARCHITECTURAL METALS

VENIX

Smillion



2012年5月14日

三和ホールディングス株式会社

www.sanwa-hldgs.co.jp

第77期 2012年3月期 決算説明資料



The Genuine. The Original.
OVERHEAD DOOR

Wayne
Dalton

GENIE

Horton
AUTOMATICS
The Automatic Choice

TODCO

novoferm

BAOSTEEL-SANWA

VINA-SANWA

目 次

■ はじめに

1. 最近の連結業績推移

■ 2011年度 通期(実績)

2. 決算ハイライト
3. 連結売上実績(セクター別)
4. 東日本大震災からの復興に向けた対応
5. 営業利益増減要因

■ 2012年度 通期(予想)

6. 外部環境予想
7. 通期予想ハイライト
8. 連結売上予想(セクター別)
9. 営業利益増減要因

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

■ 戦略課題の進捗

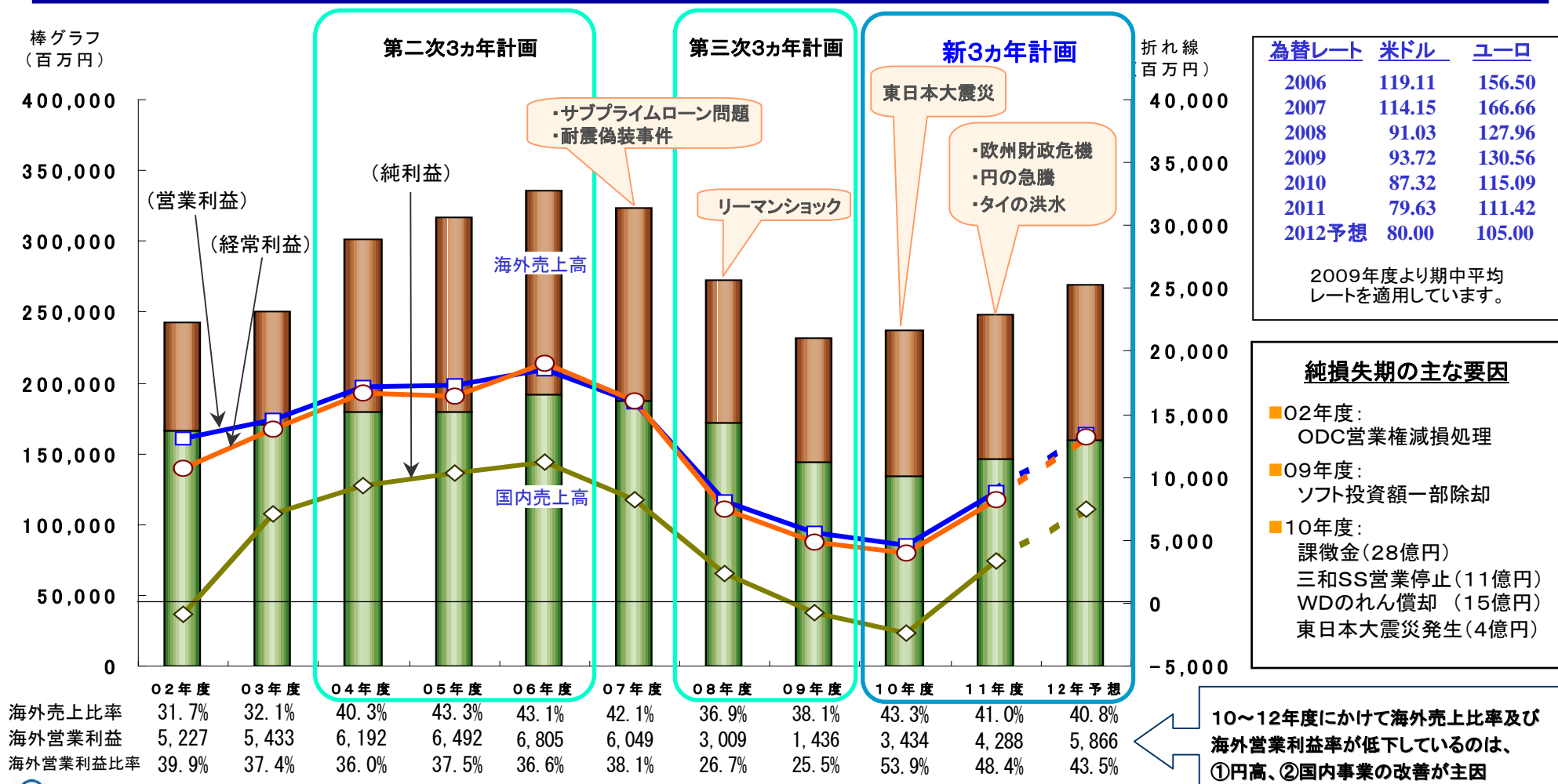
10. 構造改革及びTCRの取組み(国内)
11. ODC&WD統合シナジー
12. ODCドアサービス事業強化
13. ODC開閉機事業について
14. NFの構造改革及びTCRの取組み
15. アジア事業の基盤拡充
16. グローバルシナジー

◆ 参考資料

1. 各地域の動向(日本、米国、欧州)
2. 主要経営指標
3. トピックス
4. セクター別連結業績の概要
5. 製品別受注高・売上高(三和SS)
6. 設備投資額と減価償却費(連結)
7. 2012年度ODC業績予想
8. 2012年度NF業績予想

1. 最近の連結業績推移

- 10年度は、ウェインダルトン(WD)統合効果が大きく、海外は増収・増益となったが、三和シャッターでの営業停止の影響、WDのれん単年度償却、多額の課徴金支払により連結では増収・減益、最終赤字となった。
- 11年度は、国内・欧州で受注回復が顕著となり、米国も住宅市場低迷の影響を受けつつも増収・増益を維持し、連結では大幅な増収・増益となった。
- 12年度は、新3カ年計画最終年度となるが、国内事業を中心に全セクターとも増収増益の見込みであり、業績の回復基調は鮮明となっている。



■ 2011年度通期（実績）
2011年4月～2012年3月

2. 2011年度通期決算ハイライト

《通期連結実績》

	通期実績	上期	下期	予想	予想比	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	2,482億円 【2,556億円】	1,107億円	1,375億円	2,455億円	+27億円	2,373億円	+109億円 【+183億円】	(+4.6%) 【+7.7%】
営業利益	88.6億円 【91.9億円】	12.4億円	76.2億円	90.0億円	▲1.4億円	45.6億円	+42.9億円 【+46.3億円】	(+94.1%) 【+101.5%】
経常利益	81.9億円 【85.0億円】	10.6億円	71.3億円	86.0億円	▲4.1億円	40.3億円	+41.6億円 【+44.7億円】	(+103.1%) 【+110.9%】
当期純利益	33.0億円 【34.4億円】	1.4億円	31.6億円	40.0億円	▲7.0億円	▲24.4億円	+57.4億円 【+58.8億円】	(+) 【+】

【】内は、10年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

《通期決算のポイント》

〈要約〉

売上は、現地通貨ベースでは各セクターとも増収を確保し、連結では予想を27億円上回った。営業利益は、三和シャッターと欧州(NF)は大幅増益、米国(ODC)も下期に挽回し、連結では僅かに予想に届かなかった(▲1.4億円)が大幅増益を確保。当期純利益は大幅に改善し、3期ぶりに黒字に転換した。

売上高

売上は、+4.6%(+109億円)の増収[為替影響を除く実質ベースでは+7.7%(+183億円)の大幅増収]。国内は、+8.9%(+120億円)の増収。三和シャッターは+10.3%(+120億円)の大幅増収となり、予想比も上回った。国内グループ会社も予想を上回り、+2.4%(+6億円)の増収を確保した。米国(ODC)は、+4.0%の増収(+ \$31百万:現地通貨ベース)となったものの、急激な円高により円ベースでは減収。欧州(NF)は、+10.7%(+33百万ユーロ:現地通貨ベース)の大幅増収。主力のドイツにおいて各事業が堅調に推移した。

営業利益

営業利益は、+94.1%(+42.9億円)の増益。為替影響を除く実質ベースでは+101.5%(+46.3億円)の増益であった。国内は、+48.6%(+20億円)の増益。三和シャッターが+89.0%(+19.4億円)の増益(前年営業停止分を除いても+8.4億円の増益)となったが、固定費増加等により予想比▲6.8億円(8ページ参照)となった。国内グループ会社は、三和タジマが大幅に悪化したことにより▲1.5億円の減益。米国(ODC)は、値上げの浸透に努めたことや固定費低減により+20.2%(+ \$6.5百万)の増益となり、予想比+ \$0.9百万となった。欧州(NF)は、鋼材の値上がりや固定費アップによるコスト増を増収効果により補い、+101.7%(+5.4百万ユーロ)の増益となり、予想比でも+0.7百万ユーロとなった。

経常利益

経常利益は、持分法投資損益の悪化(▲2.0億円)があったものの、+103.1%(+41.6億円)の増益。為替影響を除くと+110.9%(+44.7億円)の増益。

当期純利益

税制改正に伴う、繰延税金資産取崩(3.7億円)が主因により予想に届かなかったものの、黒字転換した。

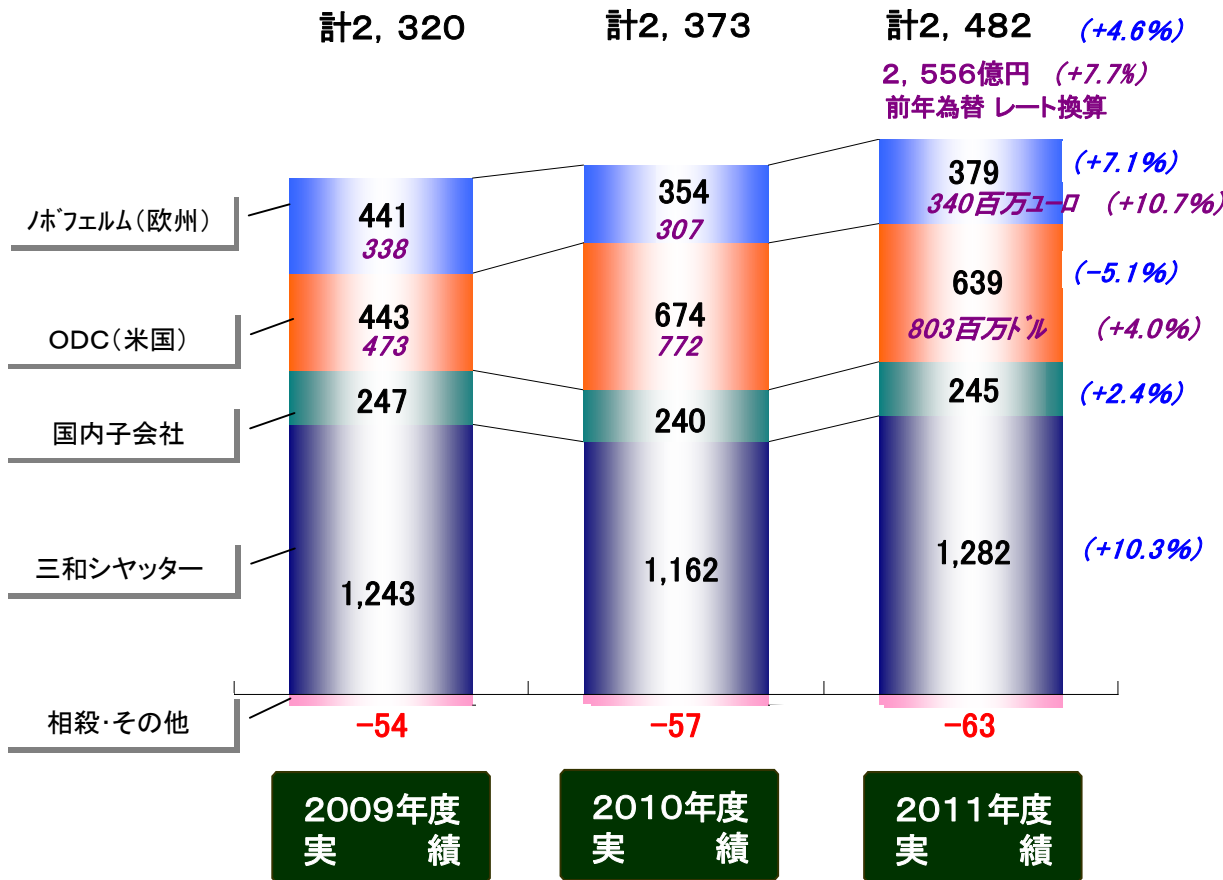
為替レート	2009	2010	2011	2012予想
1ドル	93.72	87.32	79.63	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	111.42	105.00

3. 2011年度連結売上実績(セクター別)

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

売上高



※三和シャッターは、同社のみ個別数値
(三和HDは、相殺・その他に含む)

<ノボフェルム(欧州)>

現地通貨で+10.7%の大幅増収

- ① 住宅市場回復によりガレージドアは増収 (+9.4%)
- ② ヒンジドア事業は住宅・商業用とも増収 (+9.0%)
- ③ 建設市場が回復し、産業用ドアも増収 (+15.5%)

<ODC(米国)>

現地通貨で+4.0%の増収(8億ドル突破)

- ① ドア事業は商業用ドアの増収がガレージドアの減収をカバーし微増収 (+0.1%)
- ② 開閉機は新型開閉機効果もあり増収確保 (+3.8%)
- ③ 自動ドアはドアサービス会社買収効果があり大幅増収 (+30.6%)
- ④ 車両用ドアは運輸業界が回復継続により増収確保 (+35.3%)

<国内子会社>

+2.4%の増収

- ① 昭和フロントは市場回復効果で大幅増収(+15.4%)
- ② 沖縄三和は非住宅建設が堅調で増収 (+12.0%)
- ③ 三和タジマは手持ち物件不足により減収(▲10.1%)

<三和シャッター>

+10.3%の大幅増収

- ① 軽量シャッターは震災対応および住宅着工増等で増収 (+11.4%)
- ② 重量シャッターは設備投資回復効果等により大幅増収 (+17.2%)
- ③ ビル・マンションドアは、医療施設、マンション回復により増収 (+8.2%)
- ④ メンテ・サービスは震災復旧対応等により大幅増収 (+22.7%)

為替レート	2009	2010	2011	2012予想
1ドル	93.72	87.32	79.63	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	111.42	105.00

4. 東日本大震災からの復興に向けた対応

1. 震災発生後の取組み(2011年度)

売上影響額: 約24億円の増収

地震発生直後より、全国を網羅する施工ネットワークを活かし、東北を中心とした被災地へ施工技術者を投入し、復旧に当たった。

応急修理、取替等(軽量・重量シャッター、仮設住宅ドア等)

2. 今後の復興対応

本格的な復興需要は13年度以降と予想し、12年度売上影響は14億円程度を見込む

三和シャッターにおける、震災復興体制

東北営業部に震災復興チームを新設、既存の仙台環境建材課、沿岸部営業拠点へ人員投下し、地元ニーズの情報収集開始

学校、病院、店舗、工場、倉庫、事務所(非住宅建設)

軽量シャッター、重量シャッター、オーバースライダー、間仕切など



戸建住宅や集合住宅(住宅建設)

軽量シャッター、ガレージドア、マンションドアなど

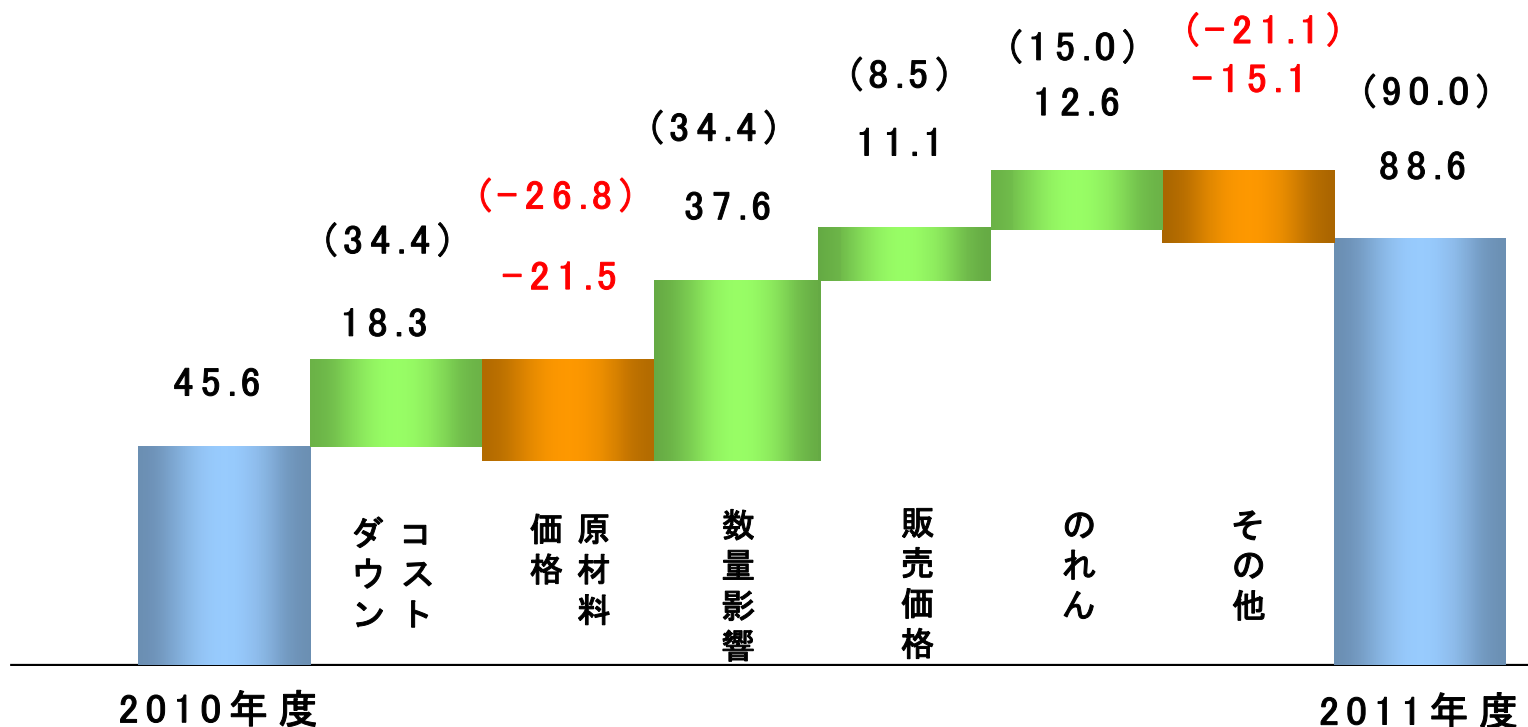


5. 営業利益増減要因(連結実績)

三和グループ(連結)

単位：億円

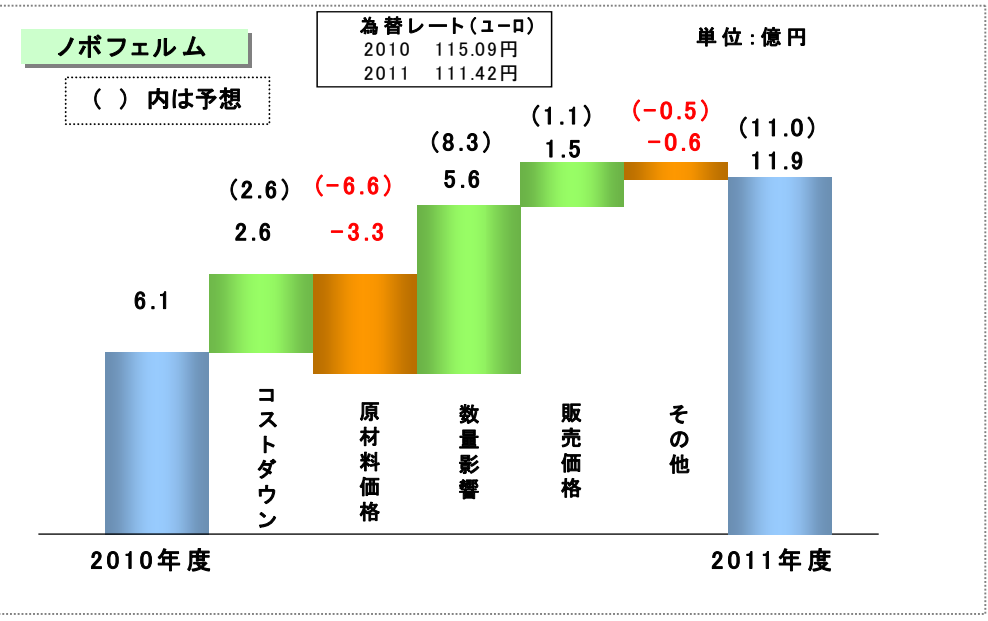
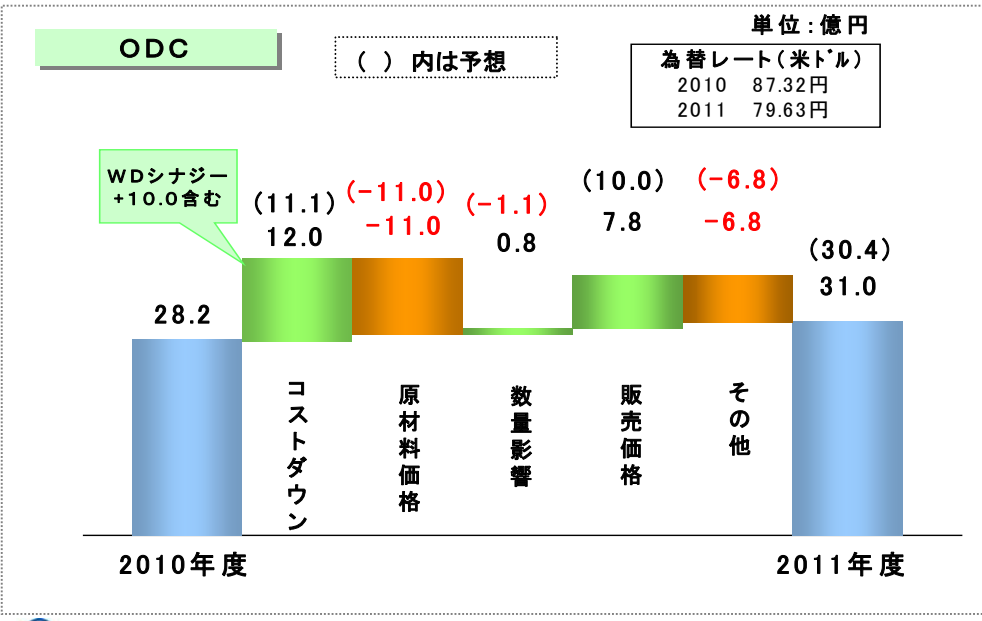
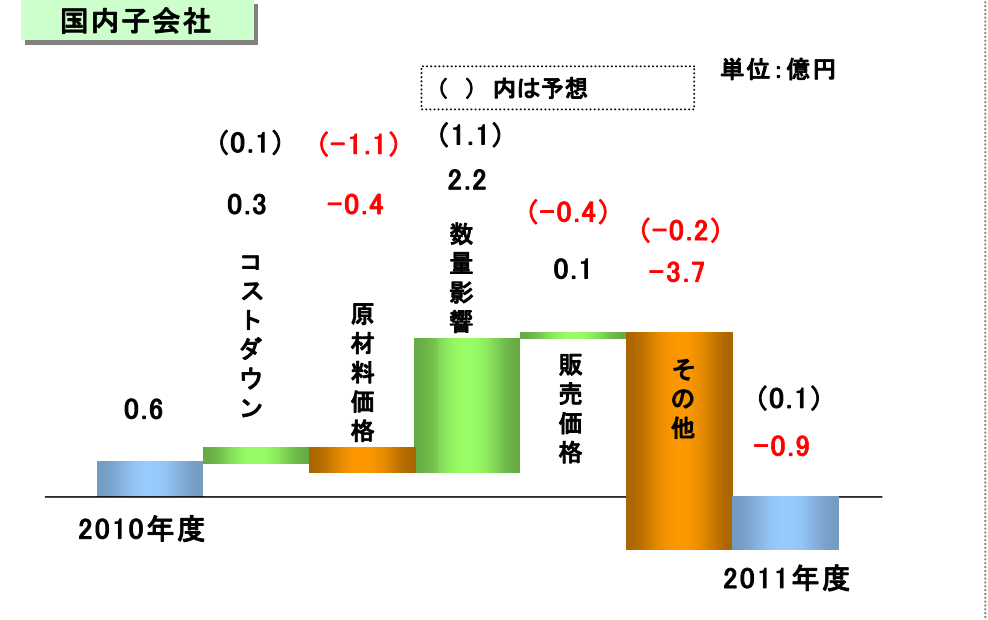
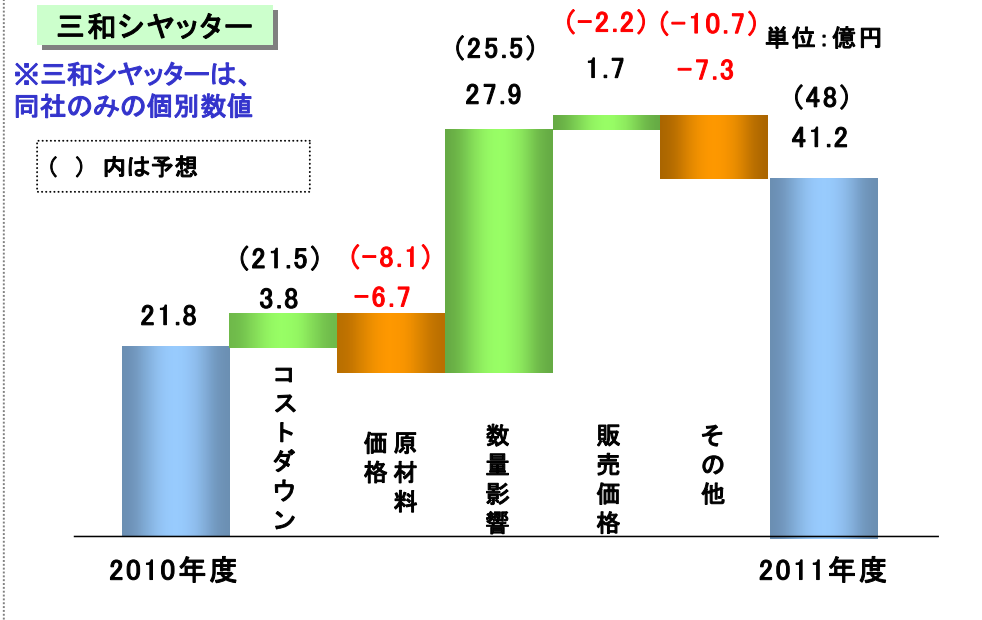
() 内は予想



予想比	コストダウン ▲16.1	原材料価格 +5.3	数量影響 +3.2	販売価格 +2.6
三和シャッター (16ページ参照)	▲17.7	+1.4	+2.4	+3.9
国内子会社	+0.2	+0.7	+1.1	+0.5
ODC(米国)	+0.9	+0.0	+1.9	▲2.2
NF(欧州)	▲0.0	+3.3	▲2.7	+0.4

5. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません



■ 2012年度 通期(予想)
2012年4月～2013年3月

6. 外部環境予想

■実質GDP成長率

	2007	2008	2009	2010	2011	2012 予想
日本	2.2%	-1.0%	-5.5%	4.4%	-0.7%	2.0%
米国	1.9%	-0.3%	-3.5%	3.0%	1.7%	2.1%
欧州（ユーロ圏）	3.0%	0.4%	-4.3%	1.9%	1.4%	-0.3%
ドイツ	3.4%	0.8%	-5.1%	3.6%	3.1%	0.6%
中国	14.2%	9.6%	9.2%	10.4%	9.2%	8.2%

※出典：IMF「World Economic Outlook」2012.04による

※暦年ベース

<12年度外部環境の見通し>

- ・国内は、住宅・非住宅とも上向き
- ・米国は、住宅が回復基調、設備投資が堅調だが今後も注視が必要
- ・欧州（ドイツ）は、不透明ながら住宅は回復、非住宅はやや弱含み
- ・中国は成長鈍化するも、高水準維持

■建設環境

		2008		2009		2010		2011		2012(予想)				
								実績	第2Q時予想					
日本	住宅着工戸数	千戸	1,039	0.3%	775	-25.4%	819	5.6%	841	▲ 2.7%	872	6.4%	883	5.0%
	非住宅着工床面積	千㎡	53,454	-7.6%	34,859	-34.8%	37,403	7.3%	40,502	▲ 8.3%	39,537	5.7%	43,075	6.4%
	民間企業設備投資	10億円	71,077	-7.7%	62,568	-12.0%	64,752	3.5%	65,788	▲ 1.6%	65,400	0.1%	68,223	3.7%
米国	住宅着工戸数	千戸	906	-33.1%	554	-38.9%	587	6.0%	609	▲ 3.7%	600	2.2%	740	21.6%
	非住宅着工床面積	百万Sq Ft	1,272	-18.4%	722	-43.2%	632	-12.5%	622	▲ -1.6%	569	-10.0%	633	1.8%
	設備投資	10億ドル	1,538	-0.8%	1,263	-17.8%	1,319	4.4%	1,433	▲ 8.7%	1,417	7.4%	1,522	6.2%
欧州	住宅完工戸数（独仏伊蘭）	千戸	932	-6.4%	821	-12.0%	702	-14.4%	704	▲ 0.2%	710	1.1%	744	5.6%
	非住宅建物投資（独仏伊蘭）	百万ユーロ	106,137	0.2%	97,274	-8.4%	86,396	-11.2%	86,813	▲ 0.5%	85,446	-1.1%	85,987	-1.0%
ドイツ	住宅完工戸数	千戸	152	-17.9%	137	-10.3%	140	2.6%	160	▲ 14.2%	155	10.3%	185	15.6%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	32,071	4.3%	31,205	-2.7%	30,019	-3.8%	31,069	▲ 3.5%	30,169	0.5%	31,536	1.5%

※出典：(日)建設経済研究所2012.04、(米)Blue Chip Economic Indicators2012.04、McGraw Hills2012.01 (欧)Euroconstruct2011.11による。日米の2012設備投資予想はニッセイ基礎研究所

※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

▲ ▼ は第2Q時予想時と比較してどのように変化したかを示す

為替レート	2009	2010	2011	2012予想
1ドル	93.72	87.32	79.63	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	111.42	105.00

《2012年度通期予想》

	通期予想	上期	下期	前年実績	前年比(額)	前年比(率)
売上高	2,690億円 【2,710億円】	1,210億円	1,480億円	2,482億円	+208億円 【+228億円】	(+8.4%) 【9.2%】
営業利益	135.0億円 【135.6億円】	32.0億円	103.0億円	88.6億円	+46.4億円 【+47.0億円】	(+52.5%) 【+53.2%】
経常利益	132.0億円 【132.5億円】	30.0億円	102.0億円	81.9億円	+50.1億円 【+50.6億円】	(+61.2%) 【+61.8%】
当期純利益	75.0億円 【75.3億円】	16.0億円	59.0億円	33.0億円	+42.0億円 【+42.3億円】	(+127.5%) 【+128.4%】

【】内は11年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したものの。

《通期予想のポイント》

〈要約〉

国内事業並びに北米事業を中心に業績の回復が鮮明となり、連結では大幅な増収増益を予想。また、東日本大震災の復興需要が本格化するの、2013年度以降と予想。

売上高

連結で+8.4%(+208億円)、為替変動を除いた実質ベースで+9.2%(+228億円)の大幅増収を見込む。国内は、+8.7%(+127億円)の増収。ビル建材商品を中心に増収を見込む。震災の復興需要は約14億円を見込む。米国(ODC)は、ガレージドアの回復は緩やかと予想するが、買収したドアサービス会社(カナダ)の寄与、設備投資が堅調に推移していることにより+12.1%(+\$97百万:現地通貨ベース)の増収を見込む。欧州(NF)は、先行き不透明感はあるものの、ドイツ住宅市場は堅調なため+5.9%(+20百万ユーロ:現地通貨ベース)の増収を見込む。

営業利益

連結で+52.5%(+46.4億円)、為替変動を除いた実質ベースでは+53.2%(+47.0億円)の大幅増益を見込む。国内は、+88.1%(+37.1億円)の大幅増益。三和シャッターは増収効果を主因として大幅増益を見込む。国内子会社は、前期赤字の三和タジマが回復、他も増益基調。米国(ODC)は、増収効果に加えて、コスト削減効果により+44.1%(+\$17.1百万)の増益を見込む。欧州(NF)は、増収効果により+23.2%(+2.5百万ユーロ)の増益を見込む。

経常利益

持分法投資損益の改善も見込み、前年比+61.2%(+50.1億円、為替変動を除いた実質ベースでは+50.6億円)の大幅増益を見込む。

当期純利益

前年比+127.5%(+42.0億円)の大幅増益。

一株純利益

31.2円

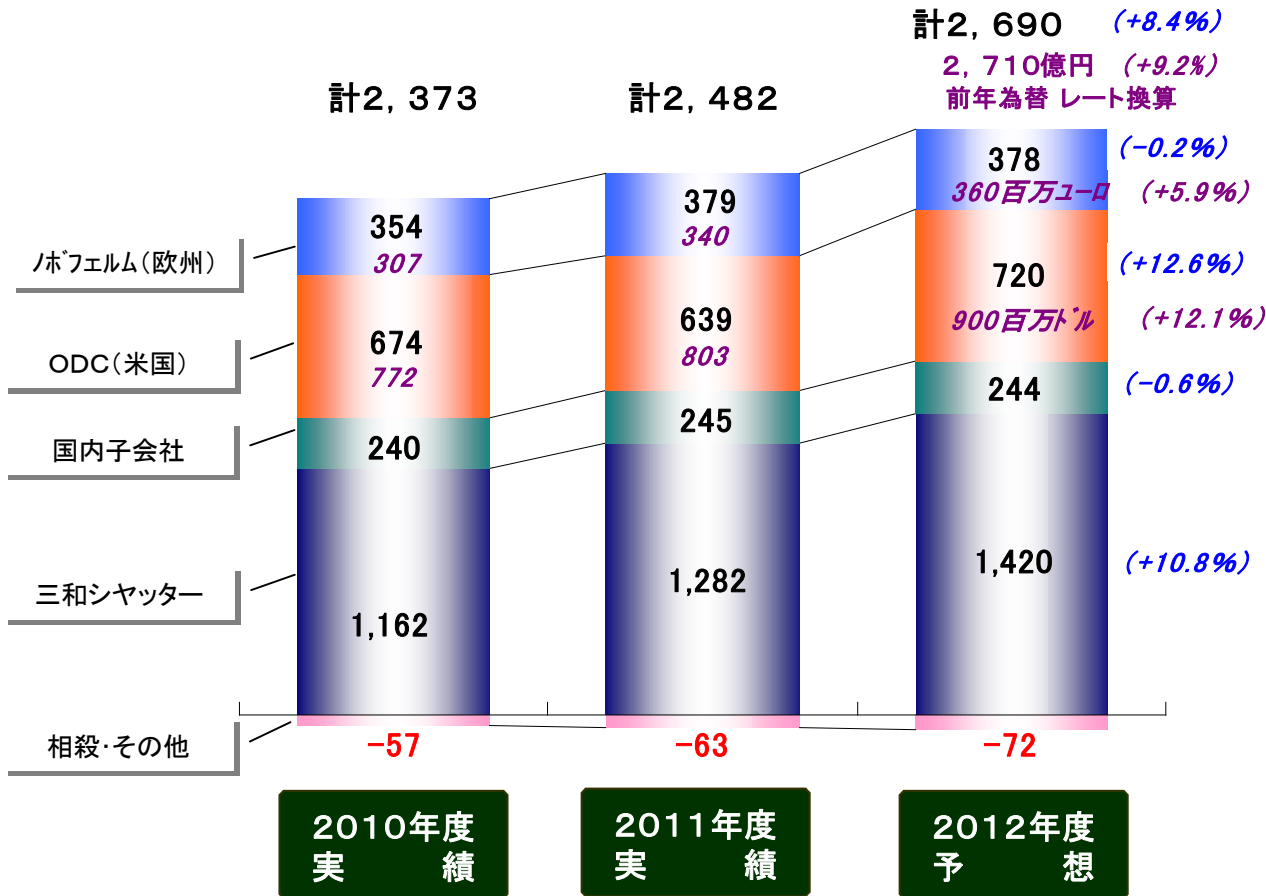
為替レート	2009	2010	2011	2012予想
1ドル	93.72	87.32	79.63	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	111.42	105.00

8. 2012年度連結売上予想(セクター別)

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

売上高



<ノボフェルム(欧州)>

現地通貨+5.9%の増収見込

- ① ガレージドアはドイツを中心に、増収を見込む
- ② 非住宅ドアも手持物件からの売上で、増収を見込む
- ③ 債務危機の影響は現状ないが、予断を許さない状況

<ODC(米国)>

現地通貨+12.1%の増収見込

- ① ガレージドアは住宅市場の緩やかな回復を見込む
- ② 商業ドアは設備投資堅調により増収を見込む
- ③ 開閉機事業は住宅市場改善により増収を見込む
- ④ 自動ドアは非住宅建設回復により増収を見込む
- ⑤ 車両用ドアは引き続き回復が続き、前年比大幅増収を見込む

<国内子会社>

+3.6%の増収、但し事業再編により

▲0.6%の減収見込

- ① ベニックスは販売部門移管により減収
- ② 三和タジマは受注残減少により横ばいを見込む
- ③ 昭和フロントは、小規模店舗の受注拡大等により増収を見込む
- ④ 沖縄三和はビル建商品の回復により増収を見込む

<三和シャッター>

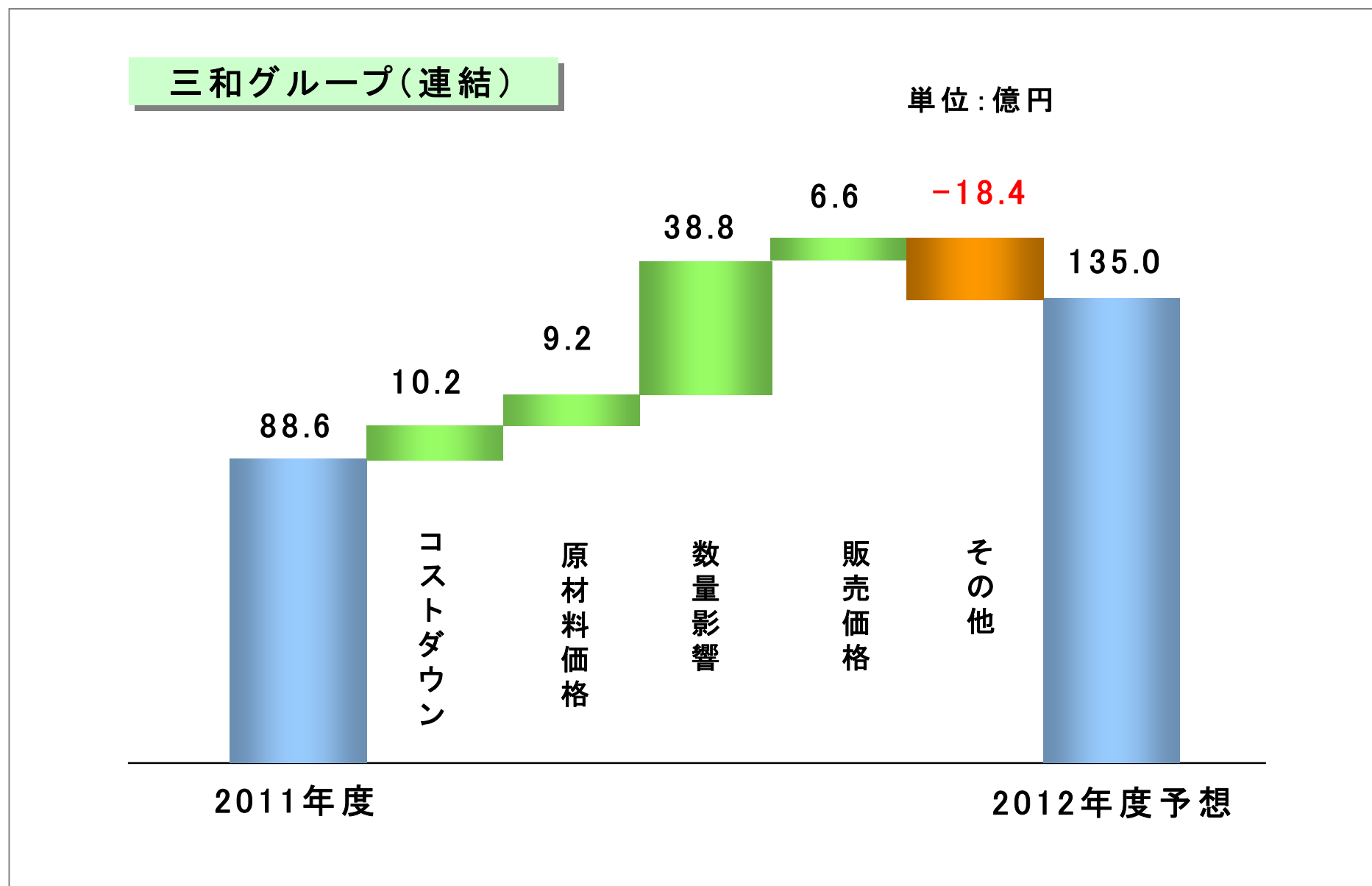
+10.8%の大幅増収見込

- ① 軽量シャッターは住宅建設回復により増収を見込む
- ② 重量シャッターは建設需要回復により増収を見込む
- ③ ビルマンションドアはマンション市場、医療福祉施設回復継続により大幅増収を見込む
- ④ メンテサービスは震災復旧相当分は減額となるが、法人への点検推進等により増収を見込む

※三和シャッターは、同社のみの個別数値 (三和HDは、相殺・その他に含む)

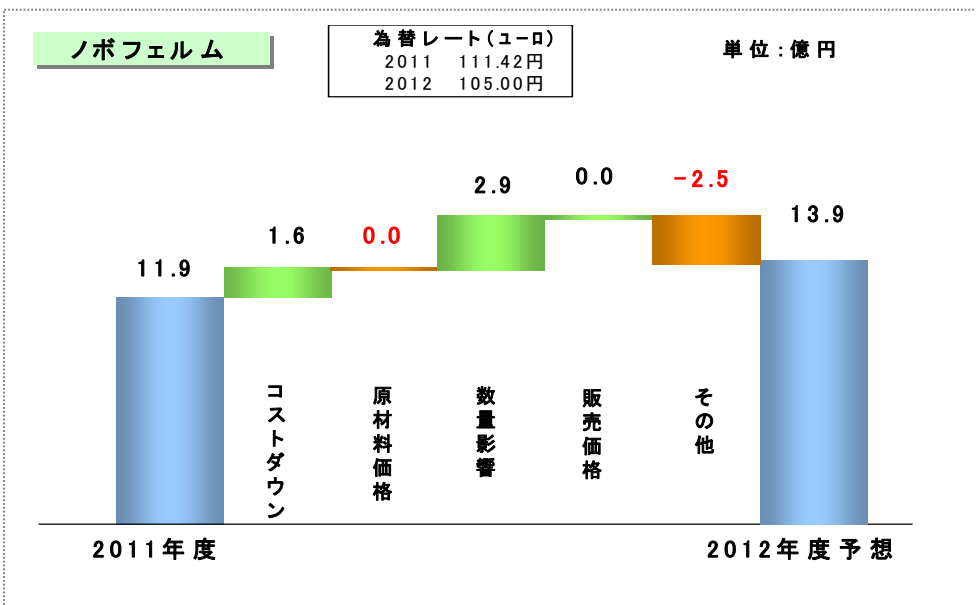
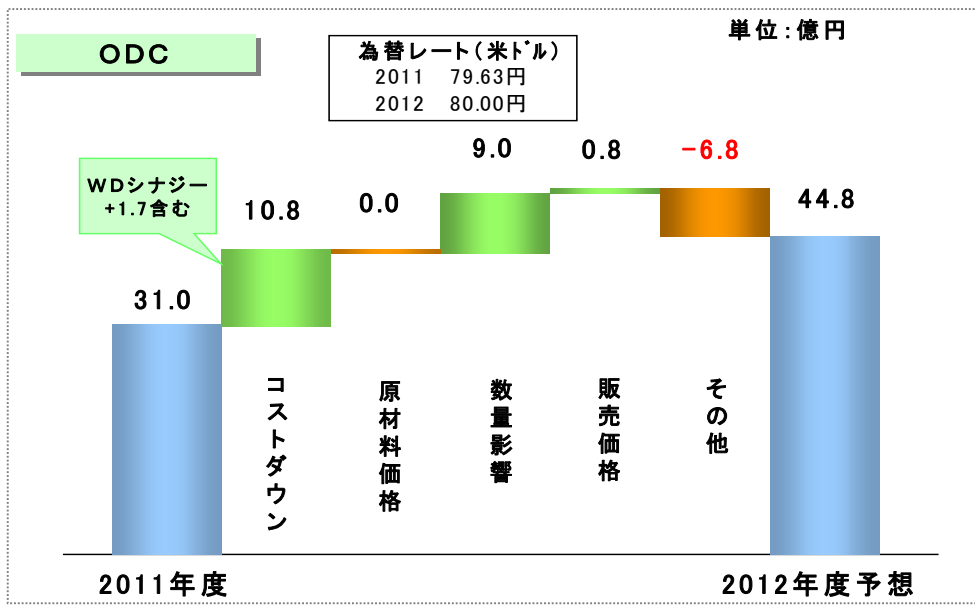
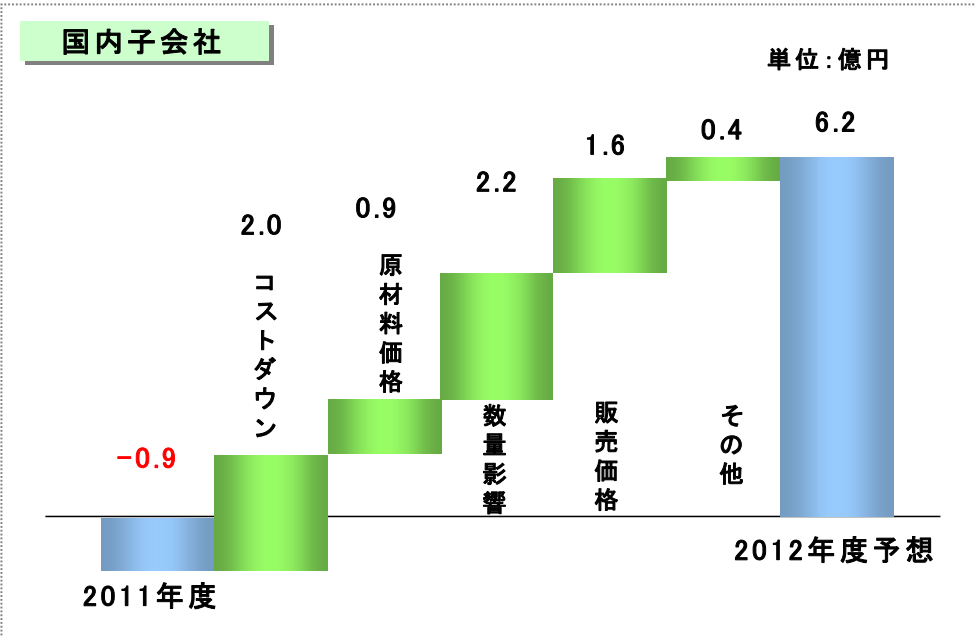
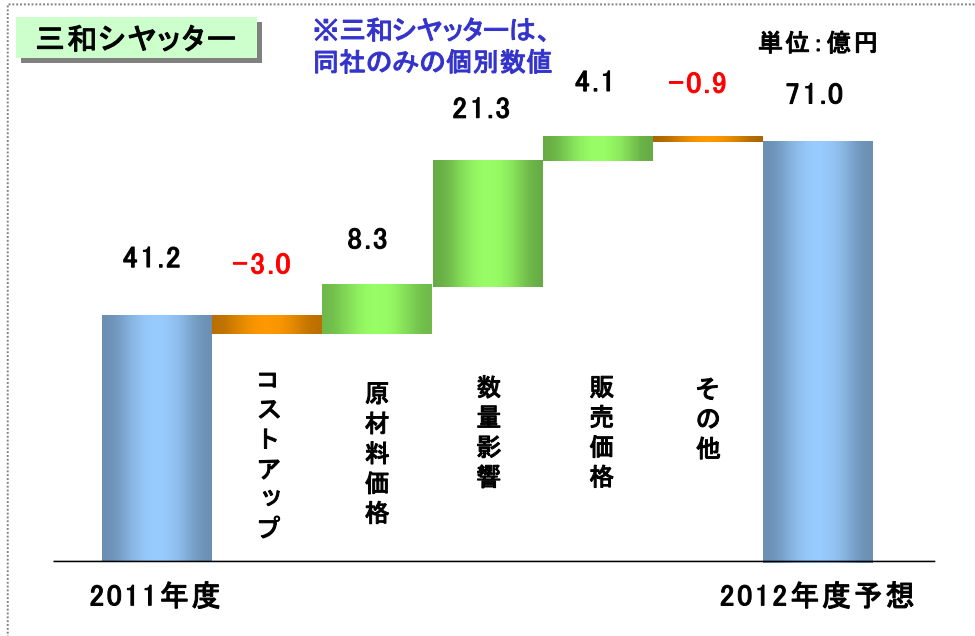
為替レート	2009	2010	2011	2012予想
ドル	93.72	87.32	79.63	80.00
ユーロ	130.56	115.09	111.42	105.00

9. 営業利益増減要因(連結)



9. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません



■ 戦略課題の進捗

10. 構造改革及びTCRの取組み(国内)

◆国内事業

(百万円)

	実施項目	10年度実績	11年度		12年度予想
			通期実績	2Q時予想	
TCR	工場ものづくり再構築 商品別CR(仕様改善、部材購入CR) 工事費、物流費の低減				
	TCR計	1,320	1,465	1,100	1,203
固定費	人件費(残業時間削減等) 販売管理費(広告宣伝費、支払手数料削減等)				
	固定費計	1,030	-196	100	0
構造改革	要員の最適化 設計部門の構造改革 不採算事業の再構築他				
	構造改革計	1,353	700	950	150
三和シャッターCR取組み合計		3,703	1,969	2,150	1,353
その他変動要因(増収に伴う固定費増など)			-1,589		-1,653
	三和シャッター工業計	3,703	380	2,150	-300
	国内会社計(TCR + 固定費 + 構造改革)	289	30	10	200



11. ODC & WD 統合シナジー

◆ODC(米国)

(千ドル)

	10年度実績	11年度		12年度予想
		通期実績	2Q時予想	
販売拠点の見直し	1,165	1,836	1,500	0
米国内ドア工場の最適化	779	2,264	2,000	850
購買・調達	8,787	7,015	6,000	1,150
輸送合理化	1,661	1,076	1,000	100
その他(人事・IT・開閉機など)	3,045	409	1,400	0
シナジー効果合計	(13.5億円) 15,437	(10.0億円) 12,600	(9.5億円) 11,900	(1.7億円) 2,100
その他CR活動	(0.9億円) 1,063	(2.0億円) 2,500	(1.6億円) 2,000	(9.1億円) 11,400
CR効果合計額	(14.4億円) 16,500	(12.0億円) 15,100	(11.1億円) 13,900	(10.8億円) 13,500



◆統合作業は概ね順調に推移し、新3カ年予想累計(\$20百万)を前倒しで達成
 ・工場最適化計画については、システム統合(ERP)を先行させるため、次年度以降へ延期。本件効果見込額(\$6百万)は、13年度以降の寄与を見込む。

為替レート	2009	2010	2011	2012予想
1ドル	93.72	87.32	79.63	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	111.42	105.00

12. ODCドアサービス事業強化

■ ODCのサービス事業参入の目的

ODCは製品の製造・販売を中核事業としていたが、施工・サービス事業(川下分野)に進出することで、高収益と成長フロンティアの拡大を目指す

ガレージドアのサービス事業について

カナダ西部において確固たる基盤を持ち、2011年12月に買収したドアサービス会社であるクリエイティブドアサービス社(CDS)を中心とした展開

	2011年度	2012年度(予想)
売上高	62,242	70,000
EBIT	5,674	6,200



※2011年度実績の内、ODC業績に含まれるのは1ヵ月分のみ(売上高5,186千ドル、EBIT639千ドル)

- ・2012年～2013年: 既存60拠点のODCセールセンターの内、サービス機能を持つ20拠点に、CDSのビジネスモデルを展開することによりサービス事業を強化
- ・2013年～2014年: 自前の新規出店または買収による事業の拡張

自動ドアのサービス事業について

	2011年度	2012年度(予想)		
	ドアサービス社	ドアサービス社	ドアコントロール社 (8ヵ月分)	合計
売上高	16,500	16,800	1,300	18,100
EBIT	1,556	1,750	200	1,950

- ・2011年1月 : オートマチックドアエンタープライズ社(現ドアサービス社)の買収によるサービス事業参入
- ・2012年5月 : ドアコントロール社の買収による事業の拡張
- ・2012年～ : ディストリビューター買収による持続的なサービス事業の拡大

13. ODC開閉機事業について

◆ODC(米国)開閉機事業について

住宅用新型開閉機動向について



(千ドル)

		10年度実績	11年度		12年度予想
			通期実績	2Q時予想	
売上高	(新型開閉機)	(433)	(34,408)	(40,465)	(79,173)
	住宅用合計	88,687	91,302	94,500	114,103
住宅用開閉機シェア		30%	↗ 31%	↗ 33%	↗ 38%

ディーラー、大型量販店などに対する新型モデルへの浸透度は順調に進捗



商業用開閉機生産について

- ・12年4月に商業用開閉機を生産を一部マタモロス (メキシコ)に移転し、人件費を削減

効果額見込み: \$ 1.5百万/年

- ・設備、人員は現地企業の請負(シェルター方式)

一時費用、設備投資額: \$ 2.5百万



14. NFの構造改革及びTCRの取組み

◆NF(ノボフェルム)






(千ユーロ)

実施項目	10年度実績	11年度		12年度予想
		通期実績	2Q時予想	
ドイツ販売網の整備	1,668	1,163	1,200	-
ドア・フレーム収益改善	864	492	550	300
産業用ドアコスト削減	147	-	-	-
NFドアプロジェクト	521	415	450	-
その他TCR (人件費、管理費削減など)	4,178	260	200	1,200
コストダウン合計	(8.5億円) 7,378	(2.6億円) 2,330	(2.6億円) 2,400	(1.6億円) 1,500

15. アジア事業の基盤拡充

	09年度実績	10年度実績	11年度		12年度予想
			通期実績	2Q時予想	
売上高	23億円	26億円	30億円	34億円	36億円
営業利益	0億円	0.1億円	▲2.0億円	0.1億円	1.6億円

	2011年度実績	2012年度予想
<p>上海宝産三和</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・通期実績は、受注・売上・営業利益共に前年を上回る実績となった ・経済環境がやや鈍化傾向の中、進出日系企業物件の取り込みに注力 	<ul style="list-style-type: none"> ・通期予想は、受注・売上・営業利益共に11年実績を上回る計画で、今後も規模の拡大を図る ・上海/長江デルタ地区以外の沿岸/内陸部大都市へも営業展開を拡大していく
<p>N F 上海</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注、売上は対前年実績を上回ったが計画達成には至らず、利益面で苦戦 ・金融引き締めの影響で、マンション、戸建の住宅建築が停滞気味 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅市場の伸びは期待し難いが、販路拡大により前年を上回る業績を計画 ・安定した需要が見込める、病院、医療機関向け受注に注力していく
<p>安和金属 (台湾)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション課税等の影響を受け、売上、利益面で苦戦を強いられた ・日系大型物件の獲得等で受注は好調 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注は前年並みを見込むが、生産性の改善に注力し、利益体質を確立する ・利益面を重視した受注活動に注力
<p>ビナサンワ (ベトナム)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融引き締め等の影響で、プロジェクトが停滞し、受注・売上・利益共に計画達成に至らず ・品質マネジメントシステム推進による、企業品質向上に注力 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済環境はやや厳しいが、営業力強化により受注、売上を増強し、事業基盤の確立を図る ・ハノイ、ホーチミン両拠点体制の拡充により経営基盤を強化していく



◆グローバルシナジー進捗

取組みテーマ(一部)	10年度実績	11年度		12年度予想
		実績	2Q時予想	
<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター、ドアの電装部品の共有化 ・日系企業の海外案件受注支援 ・グループ会社製品の各地域での生産販売(下記参照) 	1.3億円	2.7億円	3.4億円	4.3億円
<ul style="list-style-type: none"> ・中国製開閉機、部材の購入 ・グループサプライチェーン構築 	5.2億円	6.3億円	5.3億円	6.7億円
合 計	6.5億円	9.0億円	8.7億円	11.0億円

※上記実績金額は、各グループ会社のTCR効果等に含まれる。

《取組状況紹介》

実行したものの

1. 三和シャッターのカーポートをNFオランダとNFフランスで発売 (11年度効果額:61千ユーロ)
2. NFがWDのガレージドアをドイツ国内のホームセンターで発売開始(// :64千ユーロ)
3. WDヨーロッパがガレージドア開閉機をNF製に変更 (// :16千ユーロ)

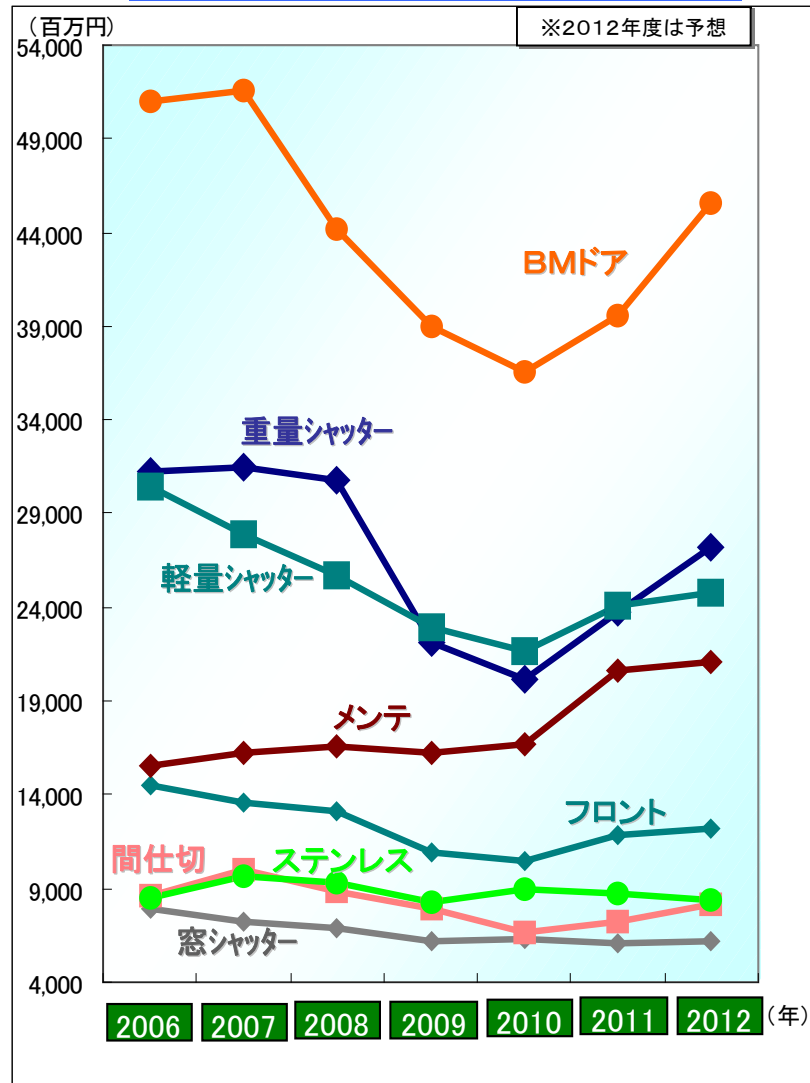
検討中のもの

1. 三和シャッターがWDのガレージドアを日本へ輸入 近日発売予定
2. ジニー製ガレージドア用の新型開閉機を日本へ輸入 近日切替予定
3. 宝産三和製OSDパネルを日本へ輸入 近日発売予定
4. 三和シャッターがWD製OSD部材を輸入 近日発売予定
5. アジアグループ会社がODCガレージドアを輸入販売

■ 参考資料

参考資料1. 各地域の動向(国内)

主要商品売上高推移



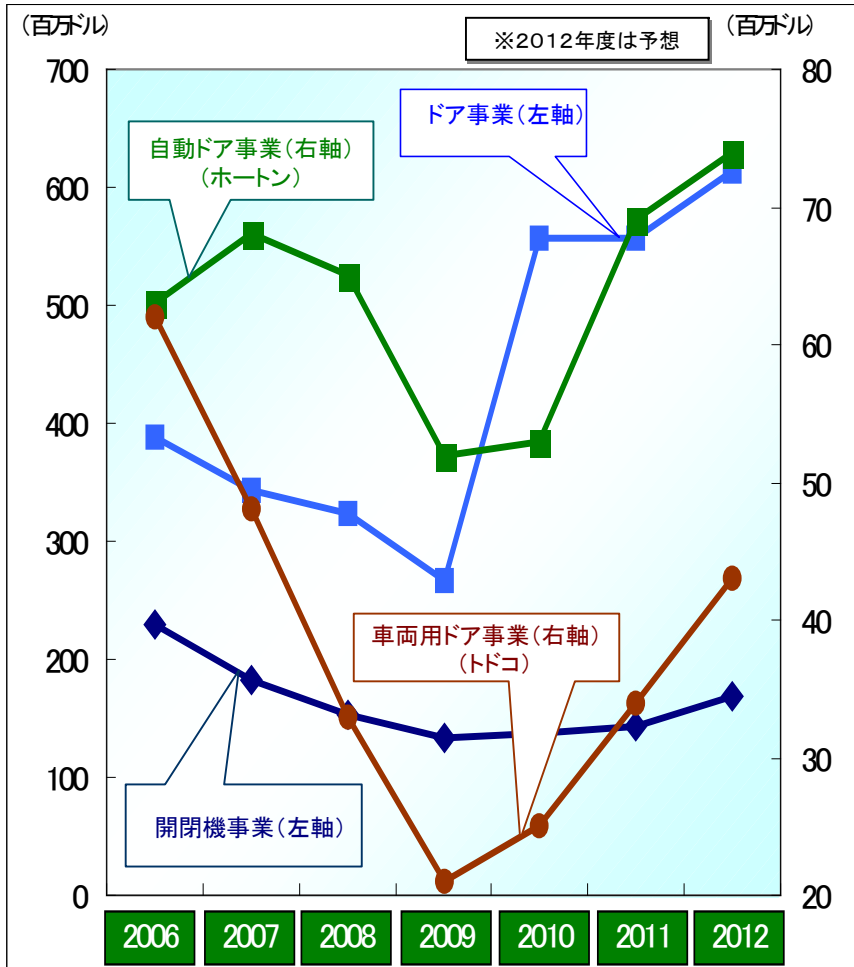
《国内連結》

	2012年度見通し
軽量シャッター	徹底した顧客営業によるシェア拡大。ガレージ停電対策商品など用途別の商品投入を行うことにより増収を見込む。
重量シャッター	被災地復興対応商品や価格競争力を高めた新型OSDの拡販に加えて、全国的に倉庫等の着工が回復しており、大幅な増収を見込む。
ビルマンションドア	マンション向けドアの増加および医療・福祉向け物件が引き続き好調のため大幅増収を見込む。繁忙期のドア供給体制の確立と施工力の強化に注力。
窓シャッター	防火仕様を強みとしたマドモアシリーズを強化し、ローコスト後付の提案と電動化率アップの推進等により微増収を見込む。
間仕切	トイレブースの品揃えアップにより取引先が増加傾向。スチールパーティションの品揃えも拡充。また事業再編の効果を発揮して地域ごとの拡販体制を強化し、大幅な増収を見込む。
ステンレス	大手への受注活動強化、海外物件の積極受注、三和シャッターと三和タジマの連携強化によるボリュームゾーンの受注確保を推し進めるが、手持ち減少により若干の減収を見込む。
アルミフロント	復興需要の本格化に向けた情報収集と人員補強を開始。エンジンを含めたグループの総合力によるトータル受注や、フロントメンテ事業等にも注力し、増収を見込む。
メンテ・サービス	震災対応は落ち着いたが、地区と法人営業部門の連携による一元管理顧客の拡大。点検および取替の提案、またバッテリー交換と簡易点検をパッケージとしたプランの推進等により増収を見込む。



参考資料1. 各地域の動向(ODC:米国)

事業別売上高推移

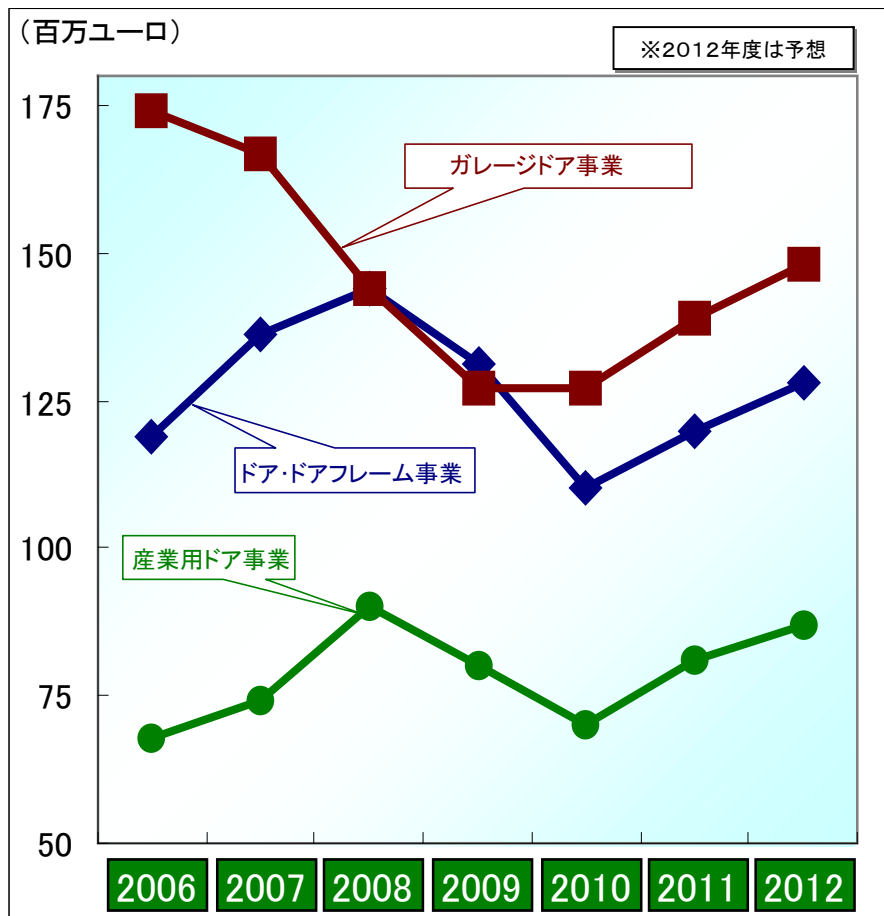


		2012年見通し
ASD	ガレージドア	2011年度は、戸建住宅市場におけるビルダーの落込みが長引き、減収。 2012年度は、市場の緩やかな回復に加えて、製品のバリエーションを増やして新規開拓に注力すると共に、より一層改築市場の攻略を進めることにより増収を見込む。 昨年買収したカナダドアサービス会社による増収効果も見込む。
	商業用ドア	2011年度は、店舗、倉庫、工場の建設が回復したことに加えて、設計事務所向けPRの注力が奏功し、増収となった。 2012年度も引き続き商業用建設投資は増加を予想し、増収を見込む。
Genie	開閉機	2011年度は、新型開閉機への切替えが一部遅延したこと等により、増収幅が予想を下回った。 2012年度は、引き続き堅調を予想している商業用を中心に、住宅用についてもWDチャンネルのジニーへの切替を更に進めることなどにより増収を見込む。
Horton	自動ドア (ホートン)	2011年度は、買収したドアサービス会社の寄与により増収を確保した。 2012年度は、商業用ビルの建設需要の大きな伸びは期待できないものの、ヘルスケア・セキュリティー・トランジット分野での販売シェア増大に注力し、増収を見込む。
TODCO	車両用ドア (トドコ)	2011年度は、運輸業界の車両投資需要が堅調に推移し、大幅な増収となった。 2012年度の見通しにおいても、トレーラーメーカーからの受注残高は旺盛で、大幅な増収を見込む。断熱材入り車両用ドアを開発し、新たな顧客層開拓を目指す。



参考資料1. 各地域の動向(ノボフェルム:欧州)

事業別売上高推移



	2012年度見通し
ドア・ドアフレーム	2011年度は、商業用ドアプロジェクトが堅調となり増収。2012年度は、住宅向けは堅調に推移するものの、産業/商業向けは欧州債務危機の影響で不透明な状況。イタリア、ドイツへの設備導入によるコストダウンを実現し、販売拡大を図ることにより増収の見込み。
ガレージドア	2011年度のガレージドア事業は、住宅市場が回復し、増収。2012年度も堅調さが継続の見込み。英国での拡販や、WayneDaltonとの製品相互供給で、更なる販売拡大を図り増収を見込む。
産業用ドア	2011年度は、大型プロジェクトの獲得によりドック設備やオーバースライダー、NF高速シートが好調で、対前年15%の大幅増収。2012年度は、欧州債務危機の影響で、見通しが不透明な状況。商品の拡充による拡販と、生産面でのコスト・ダウンやメンテサービス体制の充実により収益力の強化を図る。



参考資料2. 主要経営指標

主要経営指標の推移

主要経営指標(連結)	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 予想
売上高 (百万円)	336,277	323,445	272,970	232,029	237,295	248,214	269,000
営業利益 (百万円) (のれん償却前)	18,575	15,887	8,070 (11,288)	5,624	4,562 (6,078)	8,855	13,500
純利益 (百万円) (のれん等償却前)	11,227	8,227	2,312 (5,530)	-725	-2,443 (1,887)	3,297	7,500
売上高営業利益率 (百万円) (のれん償却前)	5.5%	4.9%	3.0% (4.1%)	2.4%	1.9% (2.6%)	3.6%	5.0%
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均) (のれん等償却前)	7.4%	5.5%	2.3% (5.5%)	-0.8%	-2.7% (2.1%)	3.8%	8.5%
自己資本比率(期末)	47.5%	48.0%	41.3%	39.0%	39.3%	37.7%	38.5%
期末純資産 (百万円)	151,169	149,330	95,365	96,110	86,012	85,522	90,900
期末総資産 (百万円)	318,293	310,957	231,054	246,599	218,933	226,579	236,300
期末有利子負債 (百万円)	68,504	70,775	54,482	74,628	59,892	61,607	65,950
D/Eレシオ: 有利子負債/純資産 (倍)	0.45	0.47	0.57	0.78	0.70	0.72	0.73
SVA(Sanwa Value Added) (百万円)	2,409	1,457	-820	-3,376	-2,697	-1,200	1,000
EPS: 1株純利益 (円) (のれん償却前)	44.4	33.4	9.6 (23.0)	-3.0	-10.2 (7.9)	13.7	31.2
発行済株式数(期中平均) (千株)	253,028	245,972	240,956	240,336	240,321	240,306	240,301

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVA的数値。 2. 2010年度の純利益(のれん等償却前)は、のれん償却と公取課徴金を除いたもの。

参考資料3. トピックス(財務)

1. 配当について

08年度		09年度		10年度		11年度		12年度	
中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間予想	期末予想
6.5円	3.5円	0円	5円	4円	4円	4円	4円	5円	5円

◇12年度配当予想: 10円 *2円増配予想*

1株利益予想: 31.2円

配当性向: 32.0% (目安は30%)

2. 特損の状況

(百万円)

	10年度実績	11年度		12年度予想
		実績	2Q時予想	
固定資産処分損	▲44	▲33	▲50	▲100
投資有証券売却損、評価損	▲269	▲371	▲223	0
年金改革費用	▲650	0	0	0
ODC工場統廃合	▲580	▲294	▲495	▲270
ODC新型開閉機関連	0	▲306	▲264	▲300
NF事業再構築費用	▲248	▲252	▲193	▲100
買収関連費用	▲93	▲20	▲5	0
公取委課徴金	▲2,815	0	0	0
東日本大震災災害損失	▲304	▲31	0	0
その他	▲127	▲98	▲70	▲130
合計	▲5,130	▲1,405	▲1,300	▲900

参考資料3. トピックス(国内事業)

1. 電気自動車充電用コンセント付きサンゲート発売(2011年11月)



三和シャッター工業が、戸建住宅用シャッターゲートのロングセラー商品である「サンゲート」の柱内に電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電用屋外コンセントを組み込んだ「電気自動車充電用コンセント付きサンゲート」を発売。

電気自動車の普及による温室効果ガス排出量の削減に貢献。



2. 三和タジマが「復興祈念ポスト」を寄贈(2011年12月)



三和タジマが、東日本大震災の被災地の復興を祈念して、復興のシンボル「奇跡の一本松」をモチーフとした「復興祈念ポスト」を、郵便事業株式会社東北支社 陸前高田支店に寄贈。



3. 三和シャッター工業とLIXILがOEM契約を締結(2012年1月)



三和シャッター工業とLIXILは、OEM契約を締結し、2012年3月より三和シャッター工業がLIXILに対して一部の軽量シャッターと軽量ドアの供給を開始することを発表。(他、順次OEM供給を開始)



参考資料3. トピックス(海外事業)

1. ODCがカナダのドア販売会社CDSを買収(2011年12月)



ODCが、カナダのドア販売ディストリビューターの、クリエイティブドアサービス社(CDS)の全株式を取得。カナダ西部で多様な製品・サービスを提供しているCDSを買収することで、サービス事業の強化による事業領域の拡大を図る。



2. ノボフェルムのメンテサービス会社の新商品が、R+T(国際シャッター・ブラインド・門扉専門見本市)でイノベーション賞を受賞。(2012年2月)



ノボフェルムのメンテサービス会社であるTST社が開発した新商品『i-control』が、3年に1度ドイツで開催されるR+Tでイノベーション賞を受賞。『i-control』は、セクショナルドアに起動センサーと安全センサーを組み合わせた自動運転システム。ボトムの水平面を認識するセンサーを搭載しているため、通過物の高さに応じてドア開口高を正確にコントロールすることで高い省エネ効率を実現。



3. ノボフェルムが英国大手ガレージドア製造販売会社とのJVを開始(2012年4月)



JV相手先は、カーデールブランドを有するイギリス大手ガレージドアメーカー(ホブズインダストリー社)及びイギリス大手ガレージドアディーラー(ザ・ガレージドアカンパニー社)で、顧客ニーズに合ったガレージドアの幅広い品揃えの生産拠点と、イギリス全域をカバーする販売・施工ネットワークを持つ。セクショナルドアに強みをもつノボフェルムとの相互補完により、イギリスでの事業拡大及び利益ある成長を加速する。



4. ODCが米国自動ドア販売会社ドアコントロール社の事業を買収(2012年5月)



ODCが、アメリカの自動ドア販売ディストリビューターであるドアコントロール社の事業を買収し、自動ドアにおける施工及びメンテナンスサービス事業の強化拡大を図る。



参考資料. 4 セクター別連結業績の概要

(百万円、千ドル、千ユーロ)

	2010年度				2011年度				2012年度(予想)			
	第2四半期累計		通期		第2四半期累計		通期		第2四半期累計		通期	
	(@91.02 @119.27)	前年 増減率	(@87.32 @115.09)	前年 増減率	(@81.78 @116.03)	前年 増減率	(@79.63 @111.42)	前年 増減率	(@80.00 @105.00)	前年 増減率	(@80.00 @105.00)	前年 増減率
売上高 [前年為替適用]	110,609	(2.4%)	237,295	(2.3%)	110,724 [114,660]	(0.1%) (3.7%)	248,214 [255,636]	(4.6%) (7.7%)	121,000 [123,605]	(9.3%) (11.6%)	269,000 [270,978]	(8.4%) (9.2%)
三和シャッター工業	51,808	(△7.0%)	116,214	(△6.5%)	53,508	(3.3%)	128,190	(10.3%)	62,000	(15.9%)	142,000	(10.8%)
その他国内子会社	10,319	(△14.5%)	23,968	(△2.8%)	11,109	(7.7%)	24,541	(2.4%)	11,200	(0.8%)	24,400	(△0.6%)
ODC(米国)	\$366,062	(69.1%)	\$771,881	(63.2%)	\$368,720	(0.7%)	\$802,889	(4.0%)	\$410,000	(11.2%)	\$900,000	(12.1%)
ノボフェルム(欧州)	€ 148,235	(△12.9%)	€ 307,351	(△9.0%)	€ 163,019	(10.0%)	€ 340,101	(10.7%)	€ 170,000	(4.3%)	€ 360,000	(5.9%)
	17,680	(△19.1%)	35,373	(△19.8%)	18,915	(7.0%)	37,894	(7.1%)	17,850	(△5.6%)	37,800	(△0.2%)
営業利益 [前年為替適用]	368	(+)	4,562	(△18.9%)	1,236 [1,274]	(235.1%) (246.2%)	8,855 [9,193]	(94.1%) (101.5%)	3,200 [3,259]	(158.9%) (163.7%)	13,500 [13,564]	(52.5%) (53.2%)
三和シャッター工業	425	(4,576.6%)	2,181	(△35.4%)	999	(134.7%)	4,123	(89.0%)	1,500	(50.1%)	7,100	(72.2%)
その他国内子会社	△200	(-)	61	(△81.2%)	△282	(-)	△90	(-)	60	(+)	620	(+)
ODC(米国)	\$10,511	(+)	\$32,336	(373.2%)	\$4,161	(△60.4%)	\$38,867	(20.2%)	\$16,600	(298.9%)	\$56,000	(44.1%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 1,109	(+)	€ 5,309	(△12.9%)	△€ 122	(+)	€ 10,710	(101.7%)	€ 2,700	(+)	€ 13,200	(23.2%)
	△132	(+)	611	(△23.3%)	△14	(+)	1,193	(95.3%)	283	(+)	1,386	(16.1%)
経常利益 [前年為替適用]	88	(+)	4,033	(△16.5%)	1,058 [1,088]	(1,093.3%) (1,136.4%)	8,190 [8,504]	(103.1%) (110.9%)	3,000 [3,041]	(183.5%) (187.4%)	13,200 [13,250]	(61.2%) (61.8%)
三和シャッター工業	638	(233.5%)	2,587	(△31.3%)	1,168	(83.0%)	4,359	(68.5%)	1,600	(36.9%)	7,300	(67.4%)
その他国内子会社	△195	(-)	71	(△79.1%)	△261	(-)	△38	(-)	40	(+)	620	(+)
ODC(米国)	\$9,406	(+)	\$32,226	(587.8%)	\$3,757	(△60.1%)	\$36,491	(13.2%)	\$15,000	(299.2%)	\$53,000	(45.2%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,160	(+)	€ 2,644	(11.4%)	△€ 1,484	(+)	€ 9,135	(245.4%)	€ 1,400	(+)	€ 10,900	(19.3%)
持分法適用会社投資損益	△80	(+)	△66	(+)	△49	(+)	△269	(-)	0	(+)	100	(+)
当期純利益 [前年為替適用]	△3,419	(-)	△2,443	(-)	144 [147]	(+) (+)	3,297 [3,444]	(+) (+)	1,600 [1,622]	(1,005.6%) (1,026.4%)	7,500 [7,532]	(127.5%) (128.4%)
三和シャッター工業	△2,460	(-)	△1,822	(-)	553	(+)	2,056	(+)	900	(62.6%)	4,300	(109.1%)
その他国内子会社	△101	(-)	△5	(-)	△193	(-)	△125	(-)	25	(+)	390	(+)
ODC(米国)	\$4,223	(+)	\$16,539	(+)	\$832	(△80.3%)	\$17,071	(3.2%)	\$8,000	(860.9%)	\$30,200	(76.9%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,182	(+)	△€ 322	(+)	△€ 1,623	(+)	€ 4,282	(△5.9%)	€ 700	(+)	€ 6,700	(56.5%)
	△260	(+)	△37	(+)	△188	(+)	477	(+)	73	(+)	703	(47.3%)
持分法適用会社投資損益	△80	(+)	△66	(+)	△49	(+)	△269	(-)	0	(+)	100	(+)

- 2011年度及び2012年度の[]内は、前年の為替換算レートを適用した場合の数値であります。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
- 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。

参考資料. 5 製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円・%)

	2011年度 (H23年度)										2012年度 (H24年度)										
	上 期			下 期			通 期				上 期 (予想)			下 期 (予想)			通 期 (予想)				
	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	
シャッター製品	軽 量	(4.5) 12,161	(3.2) 11,753	22.0	(20.1) 12,154	(20.4) 12,383	16.6	(11.8) 24,315	18.6	(11.4) 24,137	18.8	(△1.3) 12,000	(2.1) 12,000	19.4	(5.3) 12,800	(3.4) 12,800	16.0	(2.0) 24,800	17.2	(2.7) 24,800	17.5
	重 量	(35.6) 11,735	(17.0) 10,141	19.0	(36.5) 12,234	(17.4) 13,564	18.2	(36.1) 23,970	18.4	(17.2) 23,705	18.5	(11.6) 13,100	(20.3) 12,200	19.7	(18.5) 14,500	(10.6) 15,000	18.8	(15.1) 27,600	19.2	(14.7) 27,200	19.2
	小 計	(17.8) 23,897	(9.1) 21,895	40.9	(27.8) 24,388	(18.8) 25,947	34.7	(22.6) 48,286	37.0	(14.2) 47,843	37.3	(5.0) 25,100	(10.5) 24,200	39.0	(11.9) 27,300	(7.1) 27,800	34.8	(8.5) 52,400	36.4	(8.7) 52,000	36.6
シャッター関連	O S D	(18.9) 2,755	(21.1) 2,631	4.9	(23.1) 2,647	(16.2) 2,837	3.8	(20.9) 5,402	4.1	(18.5) 5,468	4.3	(△2.0) 2,700	(△1.2) 2,600	4.2	(5.8) 2,800	(2.2) 2,900	3.6	(1.8) 5,500	3.8	(0.6) 5,500	3.9
	そ の 他	(28.4) 4,318	(21.2) 3,609	6.7	(36.4) 4,370	(20.7) 4,718	6.3	(32.3) 8,689	6.7	(20.9) 8,328	6.5	(△9.5) 3,700	(0.9) 3,700	6.0	(△0.3) 4,200	(△2.1) 4,500	5.6	(△4.9) 7,900	5.5	(△0.7) 8,200	5.8
	小 計	(28.4) 7,074	(21.2) 6,241	11.7	(36.4) 7,017	(20.7) 7,556	10.1	(32.3) 14,092	10.8	(20.9) 13,797	10.8	(△9.5) 6,400	(0.9) 6,300	10.2	(△0.3) 7,000	(△2.1) 7,400	9.3	(△4.9) 13,400	9.3	(△0.7) 13,700	9.6
ドア製品	ビル・マンション	(22.2) 19,784	(0.7) 14,312	26.7	(34.7) 20,952	(13.0) 25,245	33.8	(28.3) 40,736	31.2	(8.2) 39,558	30.9	(11.7) 22,100	(21.6) 17,400	28.1	(17.9) 24,700	(11.7) 28,200	35.3	(14.9) 46,800	32.5	(15.3) 45,600	32.1
	住 宅	(△17.5) 1,064	(△17.7) 1,062	2.0	(△24.4) 781	(△24.1) 784	1.1	(△20.6) 1,846	1.4	(△20.5) 1,846	1.4	(△24.9) 800	(△24.7) 800	1.3	(2.4) 800	(2.0) 800	1.0	(△13.3) 1,600	1.1	(△13.3) 1,600	1.1
	小 計	(19.3) 20,849	(△0.8) 15,375	28.7	(31.0) 21,733	(11.3) 26,030	34.9	(25.0) 42,582	32.6	(6.5) 41,405	32.3	(9.8) 22,900	(18.4) 18,200	29.4	(17.3) 25,500	(11.4) 29,000	36.3	(13.7) 48,400	33.6	(14.0) 47,200	33.2
窓 製 品	(△3.4) 3,059	(△4.1) 3,040	5.7	(△1.6) 3,054	(△1.2) 3,076	4.1	(△2.5) 6,114	4.7	(△2.7) 6,116	4.8	(1.3) 3,100	(2.0) 3,100	5.0	(1.5) 3,100	(0.8) 3,100	3.9	(1.4) 6,200	4.3	(1.4) 6,200	4.4	
エクステリア製品	(△0.6) 1,515	(1.0) 1,494	2.8	(△1.2) 1,426	(△3.1) 1,444	1.9	(△0.9) 2,941	2.3	(△1.1) 2,938	2.3	(△1.0) 1,500	(0.4) 1,500	2.4	(5.2) 1,500	(3.9) 1,500	1.9	(2.0) 3,000	2.1	(2.1) 3,000	2.1	
その他の製品	間 仕 切 製 品	(22.5) 2,670	(5.9) 2,127	4.0	(68.7) 3,581	(40.1) 4,024	5.4	(45.3) 6,251	4.8	(26.0) 6,152	4.8	(49.8) 4,000	(64.5) 3,500	5.6	(25.6) 4,500	(16.8) 4,700	5.9	(36.0) 8,500	5.9	(33.3) 8,200	5.8
	ステンレス製品	(21.2) 1,730	(21.9) 1,278	2.4	(△2.3) 1,694	(18.9) 2,317	3.1	(8.3) 3,425	2.6	(20.0) 3,596	2.8	(△1.8) 1,700	(△6.2) 1,200	1.9	(6.2) 1,800	(△0.8) 2,300	2.9	(2.2) 3,500	2.4	(△2.7) 3,500	2.5
	フ ロ ン ト 製 品	(2.0) 427	(△4.0) 369	0.7	(1.1) 368	(△19.4) 362	0.5	(1.5) 796	0.6	(△12.3) 731	0.6	(△13.5) 370	(0.2) 370	0.6	(3.2) 380	(4.9) 380	0.5	(△5.8) 750	0.5	(2.5) 750	0.5
	そ の 他	(13.6) 2,627	(△15.3) 1,686	3.2	(40.6) 3,319	(27.7) 3,921	5.3	(26.9) 5,946	4.6	(8.9) 5,608	4.4	(34.1) 3,930	(59.3) 3,630	5.9	(18.3) 3,920	(5.4) 3,820	4.8	(25.5) 7,850	5.5	(23.7) 7,450	5.2
	小 計	(13.6) 7,455	(△15.3) 5,462	10.2	(40.6) 8,963	(27.7) 10,626	14.2	(26.9) 16,419	12.6	(8.9) 16,088	12.6	(34.1) 10,000	(59.3) 8,700	14.0	(18.3) 10,600	(5.4) 11,200	14.0	(25.5) 20,600	14.3	(23.7) 19,900	14.0
合 計	(17.1) 63,852	(3.3) 53,508	100.0	(28.7) 66,584	(16.0) 74,681	100.0	(22.7) 130,436	100.0	(10.3) 128,190	100.0	(8.1) 69,000	(15.9) 62,000	100.0	(12.6) 75,000	(7.1) 80,000	100.0	(10.4) 144,000	100.0	(10.8) 142,000	100.0	
ビル建材部門	(25.3) 37,529	(5.8) 28,551	53.4	(37.9) 39,596	(17.0) 46,927	62.8	(31.4) 77,126	59.1	(12.5) 75,478	58.9	(11.6) 41,900	(22.2) 34,900	56.3	(18.2) 46,800	(10.4) 51,800	64.8	(15.0) 88,700	61.6	(14.9) 86,700	61.1	
店装建材部門	(0.9) 9,633	(△1.2) 9,168	17.1	(19.1) 9,579	(17.2) 9,879	13.2	(9.2) 19,212	14.7	(7.6) 19,048	14.9	(△1.4) 9,500	(3.6) 9,500	15.3	(6.5) 10,200	(3.2) 10,200	12.8	(2.5) 19,700	13.7	(3.4) 19,700	13.9	
住宅建材部門	(△7.7) 5,858	(△8.0) 5,782	10.8	(△5.9) 5,425	(△5.7) 5,488	7.3	(△6.9) 11,284	8.7	(△6.9) 11,270	8.8	(△4.4) 5,600	(△3.2) 5,600	9.0	(3.2) 5,600	(2.0) 5,600	7.0	(△0.7) 11,200	7.8	(△0.6) 11,200	7.9	
メンテ・サービス	(25.3) 9,904	(25.3) 9,904	18.5	(20.4) 10,507	(20.4) 10,507	14.1	(22.7) 20,412	15.6	(22.7) 20,412	15.9	(3.0) 10,200	(3.0) 10,200	16.5	(2.8) 10,800	(2.8) 10,800	13.5	(2.9) 21,000	14.6	(2.9) 21,000	14.8	
そ の 他	(25.3) 925	(25.3) 102	0.2	(20.4) 1,474	(20.4) 1,877	2.5	(22.7) 2,400	1.8	(22.7) 1,979	1.5	(3.0) 1,800	(3.0) 1,800	2.9	(2.8) 1,600	(2.8) 1,600	2.0	(2.9) 3,400	2.4	(2.9) 3,400	2.4	
	金 額		金 額		通期増減額				金 額		金 額		通期増減額								
手 持 残 高	54,139		47,375		2,427				54,375		49,375		2,000								
う ち	16,148		13,328		2,535				15,400		12,900		△428								

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

参考資料. 6 設備投資額と減価償却費(連結)

(百万円)

	2010年度		2011年度		2012年度(見通し)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設備投資額	1,314	3,495	972	2,897	3,200	5,860
三和シャッター工業	612	1,903	198	590	918	1,600
三和ホールディングス	34	71	41	149	208	337
為替レート ()内は千ドル表示	91.02 (\$3,591)	87.32 (\$8,239)	81.78 (\$4,437)	79.63 (\$14,480)	80.00 (\$18,029)	80.00 (\$30,086)
ODC	326	719	362	1,153	1,442	2,406
為替レート ()内は千ユーロ表示	119.27 (€2,685)	115.09 (€6,759)	116.03 (€2,882)	111.42 (€8,380)	105.00 (€5,431)	105.00 (€13,335)
Novoform	320	777	334	933	570	1,400
国内連結子会社	19	23	33	70	61	115
減価償却費	3,424	6,578	2,631	5,605	3,024	6,122
三和シャッター工業	645	1,341	846	2,030	1,092	2,254
三和ホールディングス	285	573	271	549	241	483
為替レート ()内は千ドル表示	(\$11,004)	(\$20,793)	(\$9,775)	(\$19,452)	(\$10,239)	(\$20,736)
ODC	1,001	1,815	799	1,548	819	1,658
為替レート ()内は千ユーロ表示	(€5,508)	(€10,638)	(€4,979)	(€10,020)	(€5,447)	(€10,732)
Novoform	656	1,224	577	1,116	571	1,126
国内連結子会社	53	108	50	104	52	104
のれん償却額	781	1,515	86	256	247	495
有形固定資産償却費	2,150	4,085	1,838	3,657	1,796	3,640
三和シャッター工業	413	855	351	755	312	674
三和ホールディングス	279	560	265	537	235	471
為替レート ()内は千ドル表示	(\$9,222)	(\$17,271)	(\$8,029)	(\$16,039)	(\$8,603)	(\$17,445)
ODC	839	1,508	656	1,277	688	1,395
為替レート ()内は千ユーロ表示	(€4,786)	(€9,245)	(€4,471)	(€8,907)	(€4,897)	(€9,582)
Novoform	570	1,064	518	992	514	1,006
国内連結子会社	47	97	45	94	46	93
無形固定資産償却費	1,274	2,492	792	1,948	1,227	2,481
三和シャッター工業	232	486	494	1,274	780	1,580
三和ホールディングス	6	12	5	11	6	12
為替レート ()内は千ドル表示	(\$1,782)	(\$3,521)	(\$1,746)	(\$3,412)	(\$1,635)	(\$3,290)
ODC	162	307	142	271	130	263
為替レート ()内は千ユーロ表示	(€22)	(€1,392)	(€507)	(€1,113)	(€50)	(€1,150)
Novoform	86	160	58	124	57	120
国内連結子会社	5	10	4	9	5	10
のれん償却額	781	1,515	86	256	247	495

参考資料. 7 2012年度ODC業績予想

(千ドル・%)

		2010年度		2011年度				2012年度(予想)							
		通 期		上 期		下 期		通 期		上 期		下 期		通 期	
部門別売上高	ドア部門	(109.3)		(△4.1)		(4.0)		(0.1)		(9.4)		(11.0)		(10.2)	
		556,622	72.1	255,014	69.2	302,426	69.7	557,440	69.4	278,900	68.0	335,600	68.5	614,500	68.3
	開閉機部門	(2.9)		(5.0)		(2.8)		(3.8)		(15.1)		(21.1)		(18.3)	
		137,543	17.8	67,179	18.2	75,627	17.4	142,806	17.8	77,300	18.9	91,600	18.7	168,900	18.8
	自動ドア部門	(1.1)		(33.6)		(28.1)		(30.6)		(7.3)		(6.6)		(6.9)	
		52,949	6.9	31,603	8.6	37,537	8.6	69,140	8.6	33,900	8.3	40,000	8.2	73,900	8.2
	車両部門	(18.4)		(18.5)		(52.6)		(35.3)		(33.4)		(22.7)		(27.5)	
		24,766	3.2	14,923	4.0	18,578	4.3	33,502	4.2	19,900	4.9	22,800	4.7	42,700	4.7
売上高		(63.2)		(0.7)		(7.0)		(4.0)		(11.2)		(12.9)		(12.1)	
		771,881	100.0	368,720	100.0	434,168	100.0	802,889	100.0	410,000	100.0	490,000	100.0	900,000	100.0
営業利益		(373.2)		(△60.4)		(59.0)		(20.2)		(298.9)		(13.5)		(44.1)	
		32,336	4.2	4,161	1.1	34,706	8.0	38,867	4.8	16,600	4.0	39,400	8.0	56,000	6.2
経常利益		(587.9)		(△60.1)		(43.4)		(13.2)		(299.3)		(16.1)		(45.2)	
		32,226	4.2	3,757	1.0	32,734	7.5	36,491	4.5	15,000	3.7	38,000	7.8	53,000	5.9
当期純利益		(+)		(△80.3)		(31.9)		(3.2)		(861.5)		(36.7)		(76.9)	
		16,539	2.1	832	0.2	16,238	3.7	17,071	2.1	8,000	2.0	22,200	4.5	30,200	3.4
E B I T		(502.9)		(△58.4)		(44.2)		(13.5)		(285.7)		(15.5)		(45.1)	
		32,920	4.3	4,096	1.1	33,261	7.7	37,357	4.7	15,800	3.9	38,400	7.8	54,200	6.0
E B I T D A		(241.1)		(△33.5)		(30.7)		(5.8)		(87.7)		(13.9)		(31.9)	
		53,713	7.0	13,871	3.8	42,937	9.9	56,809	7.1	26,039	6.4	48,896	10.0	74,936	8.3

1. ()内は前年増減率を示す。
2. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。
3. 2011年度のドア部門にCDS社業績1ヶ月分を含む。

参考資料. 8 2012年度NF業績予想

(千ユーロ、%)

		2010年度		2011年度				2012年度(予想)							
		通期		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
所在地別	ドイツ	(△12.3)		(7.6)		(13.2)		(10.5)		(3.9)		(3.4)		(3.6)	
		219,298	71.4	113,608	69.7	128,790	72.7	242,399	71.3	118,000	69.4	133,200	70.1	251,200	69.8
	フランス	(△12.3)		(8.0)		(9.7)		(8.8)		(7.3)		(13.6)		(10.4)	
		69,528	22.6	38,939	23.9	36,716	20.7	75,655	22.2	41,800	24.6	41,700	21.9	83,500	23.2
	イタリア	(△10.9)		(4.7)		(12.9)		(9.0)		(3.9)		(19.7)		(12.4)	
		19,182	6.2	9,628	5.9	11,276	6.4	20,904	6.1	10,000	5.9	13,500	7.1	23,500	6.5
	オランダ	(△10.4)		(18.1)		(9.1)		(13.5)		(2.9)		(10.9)		(6.9)	
		52,031	16.9	29,830	18.3	29,211	16.5	59,041	17.4	30,700	18.1	32,400	17.1	63,100	17.5
売上高		(△9.0)		(10.0)		(11.3)		(10.7)		(4.3)		(7.3)		(5.9)	
		307,351	100.0	163,019	100.0	177,081	100.0	340,101	100.0	170,000	100.0	190,000	100.0	360,000	100.0
営業利益		(△12.9)		(+)		(68.7)		(101.7)		(+)		(△3.1)		(23.2)	
		5,309	1.7	△122	△0.1	10,832	6.1	10,710	3.1	2,700	1.6	10,500	5.5	13,200	3.7
経常利益		(11.4)		(+)		(121.0)		(245.4)		(+)		(△10.5)		(19.3)	
		2,644	0.9	△1,484	△0.9	10,619	6.0	9,135	2.7	1,400	0.8	9,500	5.0	10,900	3.0
当期純利益		(+)		(+)		(217.5)		(+)		(+)		(1.6)		(56.5)	
		△322	△0.1	△1,623	△1.0	5,905	3.3	4,282	1.3	700	0.4	6,000	3.2	6,700	1.9
EBIT		(1.0)		(+)		(39.6)		(63.4)		(+)		(△6.1)		(18.3)	
		7,345	2.4	71	0.0	11,929	6.7	12,001	3.5	3,000	1.8	11,200	5.9	14,200	3.9
EBITDA		(△6.6)		(17.3)		(24.1)		(22.4)		(67.3)		(△2.9)		(13.2)	
		17,983	5.9	5,050	3.1	16,970	9.6	22,021	6.5	8,447	5.0	16,485	8.7	24,932	6.9

1. IFRS基準で作成したものを日本基準に組替えて示す。
2. 所在地別売上高は各国所在各社の単純合算数値です。上段()は前年増減率を示す。
3. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。